

自民党区議会議員 23年11月号No.51 毎月1回発行

# とりがい秀夫の地域ニュース

南千住8-3-3-201 電話&FAX (3807) 4811

携帯メール torigaihideo@ezweb.ne.jp



## 東京23区 災害廃棄物受け入れ合意

### 宮城県女川町分 10万トン

東京都と都内の清掃工場を管理する特別区長会【会長 西川荒川区長】や市長会は24日、宮城県女川町のがれき約10万トンを2013年3月までに受け入れると発表しました。【女川町の災害廃棄物は44万トン超】12月に焼却灰の放射性物質が基準内であることを都内の清掃工場2カ所で確認し、来年2月以降本格的に受け入れられます。震災がれきを都が受け入れるのは、岩手県宮古市に続き2例目。木くずなど燃えるものを貨物列車で東京へ運び、都内の清掃工場で燃やします。女川町のごみを受け入れている清掃工場の焼却灰に含まれる放射性物質を調べたところ1キロあたり2300ベクレルで、国の基準の8千ベクレルを下回っていて、都内の清掃工場の平均値とほぼかわらないという事です。

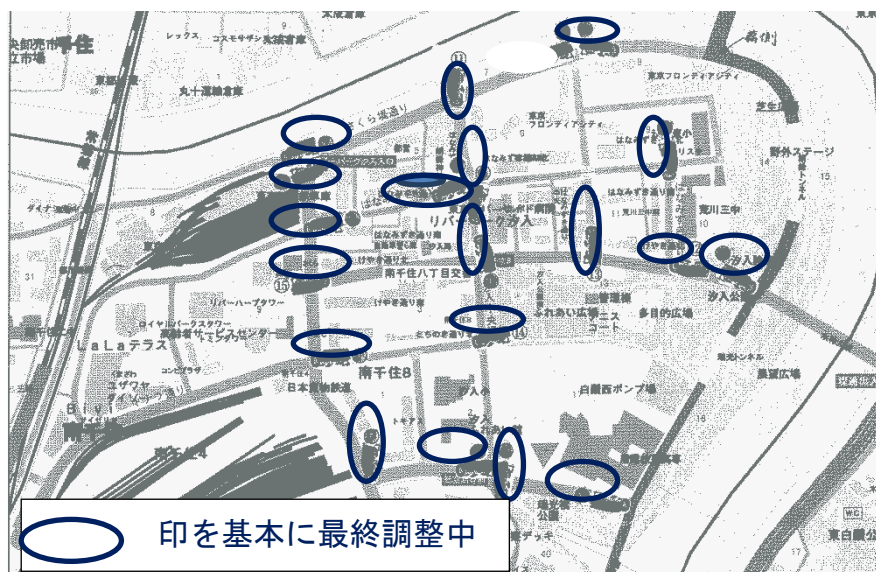


記者会見で東京都に謝意を表明する須田町長 左は西川会長

- ① 受け入れ期間 24年2月～25年3月
- ② 受け入れ工場 稼働中の全清掃工場【20か所】  
(荒川区は清掃工場がなく、足立・墨田・北区等に委託しています)
- ③ 受け入れ量 1日150トン
- ④ 受け入れ方法 密封された専用コンテナで清掃工場に搬入後処理

# 防犯カメラ 汐入町会全域に設置

現在、8丁目汐入町会、ベルポート商店街は区役所、警察と連携し汐入地域全域の治安を強化する為、街角に防犯カメラを設置し、安全、安心の町を進めようという計画を進めています。その背景としては、数年前から汐入公園内での紙切りの散布事件（既に逮捕済み）



少年による放火事件（補導済み）等も今回のカメラの設置に繋がっているのではないのでしょうか。概要を説明しますと、右図の○印で分かるように約20台位の予定です。経費の概算は1台40万円で合計800万円。この内、町会の負担は240万円（経費の6分の1）です。この地域は電柱が地中化しているため、電源は各カメラごとにソーラーパネルで対応します。

## 来年24年に完成 後年度負担を最終協議

最終的な調印はしていませんが、12月に都に申請が出来れば、完成は24年の前半、来年の6月に調印が出来れば24年の後半にカメラの設置が完成します。現在までの課題はカメラの対応年数は8年～10年です。その為、次回の更新時期には区や都が今回と同じような負担をしてもらえるかどうかの確認をしています。区としては来年1月の区議会の特別委員会で報告をするということにしています。

私の印象では区は「前向きに検討している」との感触です。

40年の歳月と3,500億円の巨費を投じて完成した汐入地域の再開発事業。公共用地60%を確保し、公園も13haで荒川区の公園面積の35%を担い、防災面でも都の地域危険度が最も安全な1にランクされています。地域内の学校も小中学校連携し様々な取り組みを行い、たびたびテレビや新聞にも放送されていることは、この情報誌でも取り上げているので多くのおみんさんはご理解をされていることと存じます。

# とりがい秀夫歩けの会

## 赤穂義士が引揚げた道

両国・吉良邸から浅野上屋敷【築地】

築地から泉岳寺までは電車利用



日時 23年12月18日(日)

雨天時は12月23日(金) 同行程

集合 ① 8時15分 常磐線 南千住駅 キオスク前

② 8時25分 常磐線 日暮里駅 北口キオスク前

会費 写真代 300円 交通費は各自—600円位

解散 1時頃 距離7キロ位 説明しながら歩行

問い合わせ—090-1201-1297 とりがい

## 24年初詣の御案内

房総白浜・千倉の花摘み

参拝は弘法大師の「川崎大師」

昼食はグルメ懐石料理を堪能



日時 24年1月29日(日)朝8時各所出発

会費 9,500円 (含む 車中飲み物等)

申込 とりがい秀夫事務所 3807-4811

締切 バス定員なり次第。お早目にご連絡を！

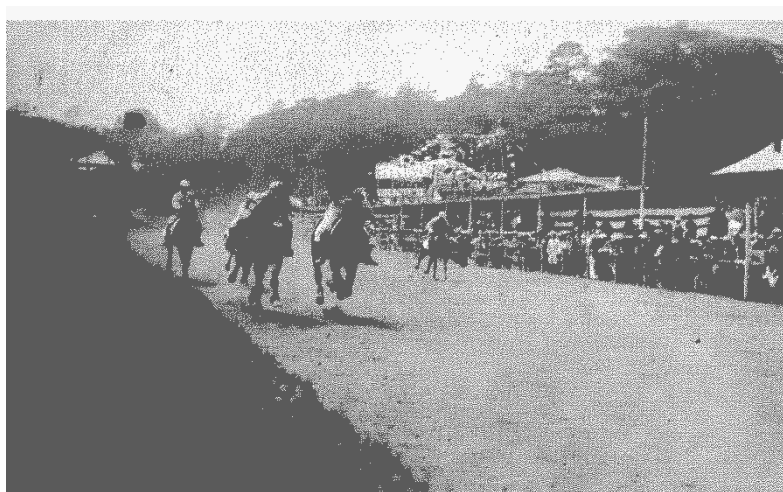
昼食 館山「季の音 (ときのね)」

行程—荒川区—川崎大師【参拝】—食事—花摘み—帰宅6時頃

# 上野不忍池の競馬場

明治政府は軍事的目的のため、馬の改良には熱心に行いました。日本最初の洋式競馬場は明治12年に新宿の戸山が原に造り、後に写真のように不忍池に移転しました（明治17年）。

池の周囲をすこし埋立て、長さ16町（1700m）幅10間（18m）の競馬場の規模です。競馬場の開設と同時に写真のような馬見所が出来、この年早くも天覧競馬が行われます。今日の「**天皇賞**」はこの時のレースが発端と言われています。この「**不忍池競馬場**」は明治40年頃に幕を閉じます。



## 不忍池のウォーターシュート

### 東京勧業博覧会でお見みえ—観覧車も

この写真は明治40年に上野で開催された東京勧業博覧会において不忍池が第2会場となり、ウォーターシュートがお目見えしました。他にもイルミネーションや観覧車も登場します。明治から昭和にかけて、上野ほど多くの博覧会が開催された場所はありません。そのきっかけは、明治10・14・23年と3回にわたって開かれた内国勧業博覧会という国家的プロジェクトでした。

